

皆さん、こんにちは。日本共産党県議候補みわ由美です。今日は69回目の終戦記念日にあたりまして平和への決意を込めて、マイクを持たせて頂きました。よろしくお願ひ致します。さて皆さんは、どんな思いで終戦記念日をお過ごしでしょうか。先日私は、広島で被爆された森上さんからお話をお聞きしました。忘れられません。

「僕たち家族にとっては、終戦はありません」当時二歳だった森上さんは、8月6日、四歳の姉・茂子さんと一緒でした。ところが「姉の茂子だけが、家の下敷きになって、燃え盛る火の中で、お母ちゃん、お母ちゃん・・・しかし、とうとう母は助けられず、半狂乱になって泣き叫びながら娘をあとにしました」

「だから今90歳を超えた母は、事あるごとに、『茂子はどこじゃ、あれは茂子じゃないか』・・・遺骨を抱くことさえ出来なかった、母の無念は生涯続く」こう、おっしゃられました。そして最後に、「こんな僕が、二十歳になって選んだ政党が、戦前から反戦平和のために闘った日本共産党です」と、結ばれました。

皆さん、今、戦争はイヤダ・憲法守れ、多くの国民の皆さんが、若い世代が、こう言う思いを抱いておられるのに、これに真っ向から逆らっているのが、安倍内閣ではないでしょうか。

集団的自衛権の行使容認で日本を海外で戦争する国にする、若者を戦地に送り込む、そして消費税は増税へ、原発は再稼働へ、沖縄辺野古に新基地建設へ。世論を無視して暴走する安倍内閣に、レッドカードをつきつけようではありませんか。11月の松戸市議会議員選挙、来春の県議選は絶好のチャンスです。私みわ由美は、県議会で議席回復をめざします。

対決、対案、共同で、希望のもてる暮らしと、平和な未来をめざして頑張る日本共産党。皆さまと力を合わせて頑張ることをお約束いたしまして、本日の終戦記念日、平和の訴えとさせていただきます。有難うございました。